

設計・施工資料	内装建材	樹脂製化粧見切
	見切・目地	省令準耐火構造対応 シワ防止 高意匠性 幕板見切 6T

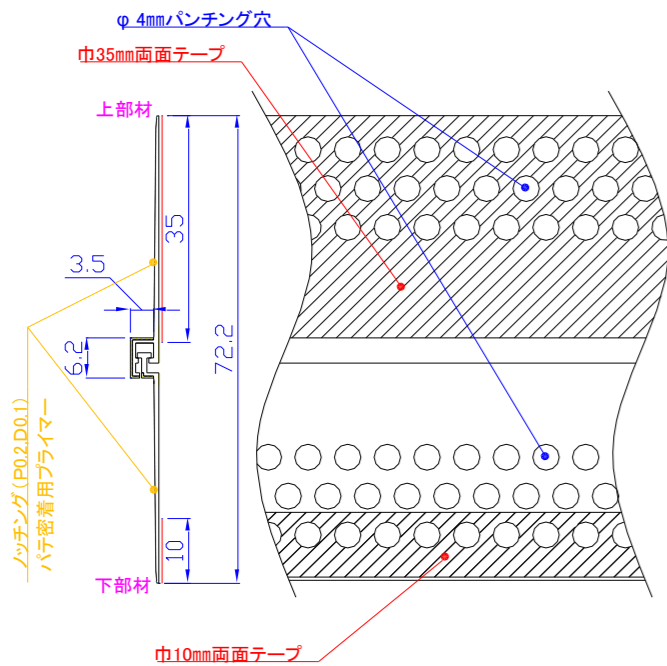
■設計施工時の注意

▲注意

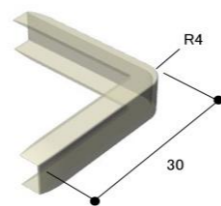
- 本製品は屋内のクロス貼り分け見切り材です。それ以外の目的には使用しないでください
- 冬場に本製品を施工する際には、室温が5℃以上となるようにしてください
- 本製品の在庫保管や施工時の一時保管の場合は、雨や直射日光の当たらないところに平置きで保管してください

■製品図

幕板見切 6T

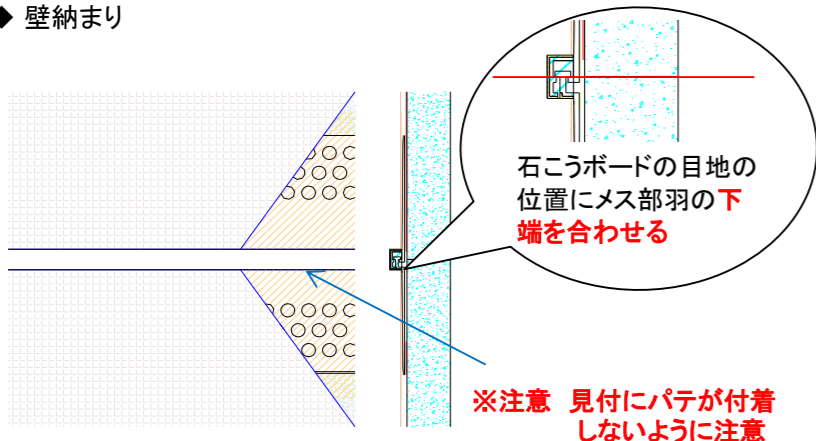


幕板見切 6T 出隅役物



■基本納まり図

◆壁納まり



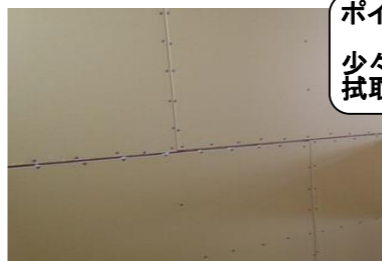
◆出隅納まり



■施工手順

①壁の下地を綺麗にする 不陸をなくす

石こうボードの切粉や埃など、下地の汚れを拭取ってください。見切り材の下地への密着度に影響します。



ポイント！切粉

少々湿り気のある雑巾で汚れを拭取ること

②長さを切断する

カッターもしくは手鋸にて切断してください。
※樹脂切断用のハサミはNGです。
(切断時に見付をつぶしてしまう為)

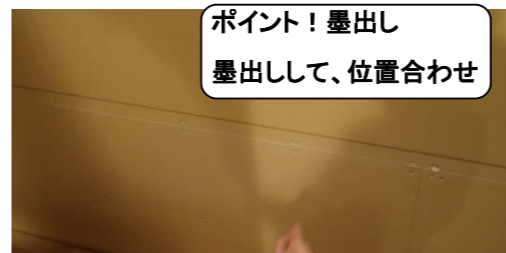


ポイント！切断

見付をつぶさないように注意して切断すること

③下地への貼り付け

上部材の羽の下端を横目地に合わせるように墨出ししてください。上部材を先に両面テープで仮留めしてください。次に下部材を下に引っ張りながら両面テープで仮留めしてください。



ポイント！墨出し

墨出して、位置合わせ



！注意：上下を間違えないこと
(納まり図参照)

ポイント！下部材の仮留め

下部材を下に引張りながら貼り付ける

出隅部(出隅役物を使用しない場合)

45° カット。突き付け施工してください。



入隅部

入隅は短手勝ちで長手は真物を使って突き付け施工してください。

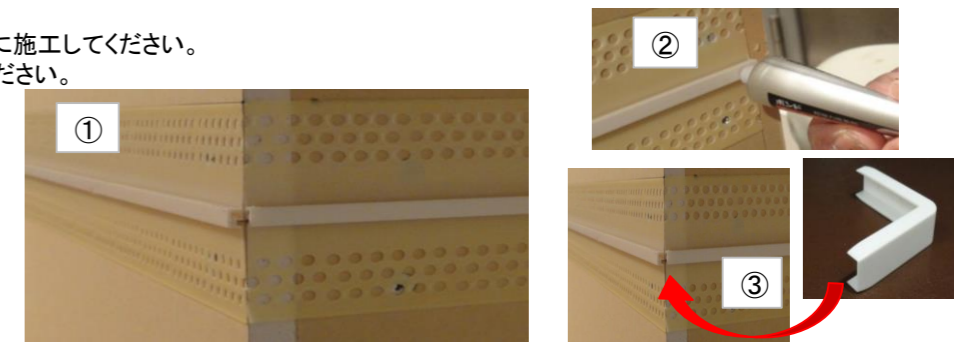


出隅部(出隅役物を使用する場合)

(出隅役物取付方法)

- ①幕板見切本体の出隅部は下図の様に施工してください。
 - ②見切の片方のみ接着材を塗布してください。
 - ③出隅役物を施工してください
- ※はみ出た接着材はきれいに拭き取ってください

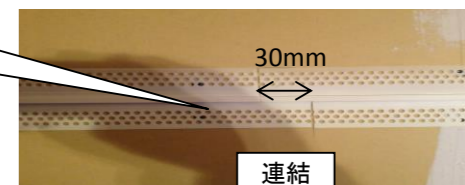
※接着剤は速乾性で透明なものを使用して下さい
(ウルトラ多用途SUなど)



・ジョイント部

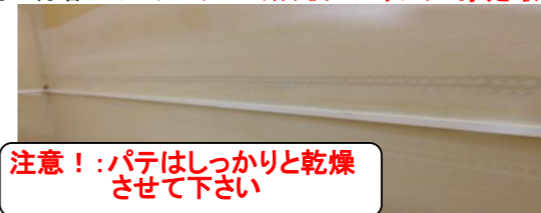
長手ジョイントの際は下部材を30mmずらし連結ください。最低でも2回(下パテ・仕上げパテ)、段差が出る場合は3回パテ処理してください。

！注意：石こうボードの縦ジョイント部での幕板本体のジョイントは避けて下さい



④パテ処理

下地材の段差を隠すため、パテを入れてください。最低でも2回(下パテ・仕上げパテ)、段差が出る場合は3回パテ処理してください。
※ 見付に付着したパテはクロス貼り後にスポンジで拭き取ってください。



注意！：パテはしっかりと乾燥させて下さい

⑤クロス貼り

クロスは見切りを定木にして切断してください。※ヘラを当てて見切りに沿ってカットしてください。※見切本体まで切断しないよう注意してください。

